



早来中学校野球部が東部新人戦優勝

8月23日と24日にむかわ町で胆振東部3町中学校新人野球大会が開催され、早来中学校野球部が優勝しました。

1年生と2年生によるメンバーで緊張したプレーも見られましたが、決勝戦は白熱した内容で全員ががんばった結果でした。対戦成績は次のとおりです。

1回戦 19-0 (厚南中学校)、準決勝 3-1(追分中学校)、決勝 6-2 (穂別中学校)



東高校と工業高校の対戦

10年で一区切り

8月17日、ときわ球場で高等学校野球新人オープン戦早来大会が開催され、苦小牧市内の東高校、南高校、工業高校の3校が総当たり戦を行いました。

この大会は早来野球連盟が主催し今年で10回目ですが、当初から10年を目標に実施してきており、今回で一区切り。関係者から継続を望む声も聞かれました。

最後の大会ということで、始球式には瀧町長が出席しました。対戦成績は次のとおりです。

苦小牧南高校	2勝0敗
苦小牧東高校	1勝1敗
苦小牧工業高校	0勝2敗

地域福祉に役立ててください

陸上自衛隊安平駐屯地では、7月に開催された第27回おいわけメロンまつりで隊員の手作りによる木製プランターを販売して得たお金を町社会福祉協議会に寄付。7月30日に社協の事務所を訪れた安平駐屯地の菅沼忠博司令が社協の畠山與志光会長に収益金を手渡しました。

菅沼司令から「地域福祉のために役立ててください」との言葉に「皆さんの善意の気持ちを大切にさせていただきます」と畠山会長からお礼のことばが述べられました。



菅沼司令(写真左)から畠山会長に

生活安定と幸せに向けて

「明るい楽しい仲間づくりを考えよう」をスローガンに胆振管内母子寡婦福祉研修会が8月24日に追分公民館で開催されました。

この研修会は厳しい社会情勢の中で、子どもたちの健やかな成長と母子寡婦家庭の生活の安定と幸せの実現を助け、家庭の絆を深める研修です。

講演会や支庁の福祉担当職員からの行政説明などが行われ、家庭のありかたや仲間とのつながりの大切さを改めて確認していました。



野外活動で自然とのふれあいを体験

8月5日から2泊3日、追分地区にある『笑顔の森』で町内の小学生39名がキャンプをしながら、星座の観察やカヌー遊びなど行いました。炊飯は飯ごうを使い、まきは木の枝を自分たちで切ったものを使用。煙にむせながら各班で作った料理は「とてもおいしい」との感想でした。一日に消費できる水が決められ、限られた水をいかに有効に使うか考え参加者たちは取り組んでいました。3日間の野外活動でしたが、貴重な体験をした子どもたちの顔や腕は日焼けしてたくましくなっていました。



木の枝を切り炊飯用のまきを作る